

平成28年度 戸田市政策研究所研究テーマ

研究テーマ名	研究概要	事業名
<p>地域コミュニティの世代間断絶をつなぐ、女性の地域開業の可能性</p>	<p>地域コミュニティの活性化には、多世代参加が肝要である。しかし、戸田市では古くから住んでいる住民と、新築マンション建設の増加に伴い新たに移り住んできた住民との交流や接点が少ないのが現実である。また、戸田市では子育て期において女性の地域活動への参加がある反面、子どもの手が離れると地域活動への参加率が急低下する傾向にあり、この状況から地域コミュニティにおいては世代間断絶の状態が確認されている。</p> <p>この要因としては、女性の就業が挙げられる。求人状況から時間的・地理的に地域を離れる選択肢を選ぶ場合もあり、結果的に地域コミュニティから離れている状況も見受けられる。そのため、居住地近接で仕事ができ、尚且つ芽生えてきた地域貢献意欲を満たす職があれば望ましいという潜在意識を抱えている可能性が高い。</p> <p>そこで本研究では、子育てが一段落した彼女らの就業希望と保有する生活情報を明らかにし、地域コミュニティの世代間断絶をつなぐために、女性の地域開業及び新しい就業支援の可能性を検証する。</p> <p>なお、本研究は法政大学地域研究センターとの共同研究とする。</p>	<p>政策研究 (1年目)</p>
<p>戸田市における20代・30代の若年層の居場所に関する応用研究</p>	<p>20代・30代の若年層は、都会志向が高く、「地元」への愛着が低いと考えられている。それゆえに、大都市周縁に位置づく郊外都市では、若年層の定着を高めるため、彼／彼女らの地元志向を高めるようなコミュニティ政策に答えを見出すことが求められている。</p> <p>そこで本研究は、戸田市における若年層の転出を減少させるための策を検討することを目的とする。</p> <p>昨年度においては、若年層を対象として、戸田市での生活と消費行動を中心テーマとするアンケート調査を実施した。同調査結果から、若年層の「地元」での居場所、居住地や消費空間に求めているもの（こと）が明らかとなった。</p> <p>そこで、研究2年目においては、同調査結果から判明した若年層に芽生えつつある、まちづくりへの意識を醸成するための学びの仕掛けを研究していくことで、若年層の居場所づくりに必要なポイントを見出していく。</p> <p>なお、本研究は目白大学との共同研究とする。</p>	<p>政策研究 (2年目)</p>

※政策研究：必ずしも施策化・事業化を前提としない研究。複数年で結論を導出する。